

「Overseas Internship in ベトナム 2024」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部／大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。3名程度を募集する。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【ベトナム・ハノイ】ベトナム日本国際学校（教育学部協定先、インターンシップ協定締結済）

4. 日 程

8月11日(日)－8月25日(日) 14泊15日(予定)

5. 概 要

ベトナム日本国際学校（JIS）は、ベトナムに日本式の教育を導入して注目されている学校です。就学前教育から、高校段階までの教育課程をもち、その中では、日本の教育課程を導入するほか、ベトナムの教育課程、そして、ケンブリッジ・教育プログラムも導入している国際学校です。教員は約半数が日本人で、その他に、ベトナム人教員、海外からの教員（主にケンブリッジ課程を担当）によって構成され、ベトナム人の国際的人材の育成を目指し、日本の大学や、海外の大学への進学を目指しています。日本式の教育をうベトナムに導入することを目指して創設されたこの学園の理事長はベトナムの水産大臣を務めた方で、九州大学の農学部教員とも交流があり、学生交流を行っています。創設の中核であった、中央大学の他、現在、多くの日本の高校や大学と連携を持ち、教員には九州大学工学部出身の教員もおり、九州大学の教育学部とのインターンシップの連携協定を結んでいます。

6. 受け入れ手続き

学生の履歴書・志望理由書を提出いただき、センターで受入の可否を決定いたします。日本センターと大学間でインターンシップ協定に基づき、業務内容や受け入れ状況等を確認のうえ、受入を実施します。

7. 受け入れプログラム

4月11日：インターンシップ説明 4月11日～：個別学生相談 希望調査

5月：学生の決定 6月～7月：学校の紹介、ベトナム文化・生活の学習、海外渡航準備

(1) オリエンテーション：安全講習、ベトナム文化紹介、初歩ベトナム講座

(2) 学校運営・日本語教育・日本文化教育・学生交流における学校・授業運営業務体験

日本語・科目等授業補助：日本語・教科の授業の聴講・参加、教材作成支援

日本文化に関する教育・学生交流支援業務

学校運営業務：学校施設運営や教員との協議、日本語・日本文化に関する交流イベント補助

(3) 関連国際協力現場視察：ベトナム及び日本の国際協力の現場を訪問

8. 費用

1名につき20,000円(受入プログラム開発費として)※この費用には航空賃・現地滞在費用・海外旅行保険料等は含まれません。

9. その他

本研修は、現地で学生自身で行うものであることを理解して、申し込んでください(往路のみ、教員が関与する可能性はありますが、全日程で教員は随行しません)。宿泊はJISの寮を格安で提供してもらいます。送迎は、JISに依頼予定です。生活に関する種々の情報はご提供いたしますが、飛行機予約は教員と相談の上、学生ご自身で行っていただきます。

10. その他、単位認定など

本事業「海外インターンシップ」は「Overseas Internship I・II」として単位認定を行う。1年生が参加した場合の単位認定はないものとする。

11. 奨学金など

審査や諸条件により、九大基金(6万円)の奨学金が本事業に適用される可能性がある。詳しくは、申込後に案内する。

12. 申し込み期限と申込先

申し込みを希望する場合、保護者へ学部からの案内を見せ、十分に実施の趣旨とリスクを認識していただいた上で、申請書と志望理由書、誓約書を添えて、5月15日(水)までに、教育学部学務窓口まで提出ください。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

竹熊 尚夫 教授(教育学部 国際教育環境学講座 比較・国際教育第二研究室)

takekuma.hisao.847@m.kyushu-u.ac.jp

木村 拓也 教授(教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室)

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp